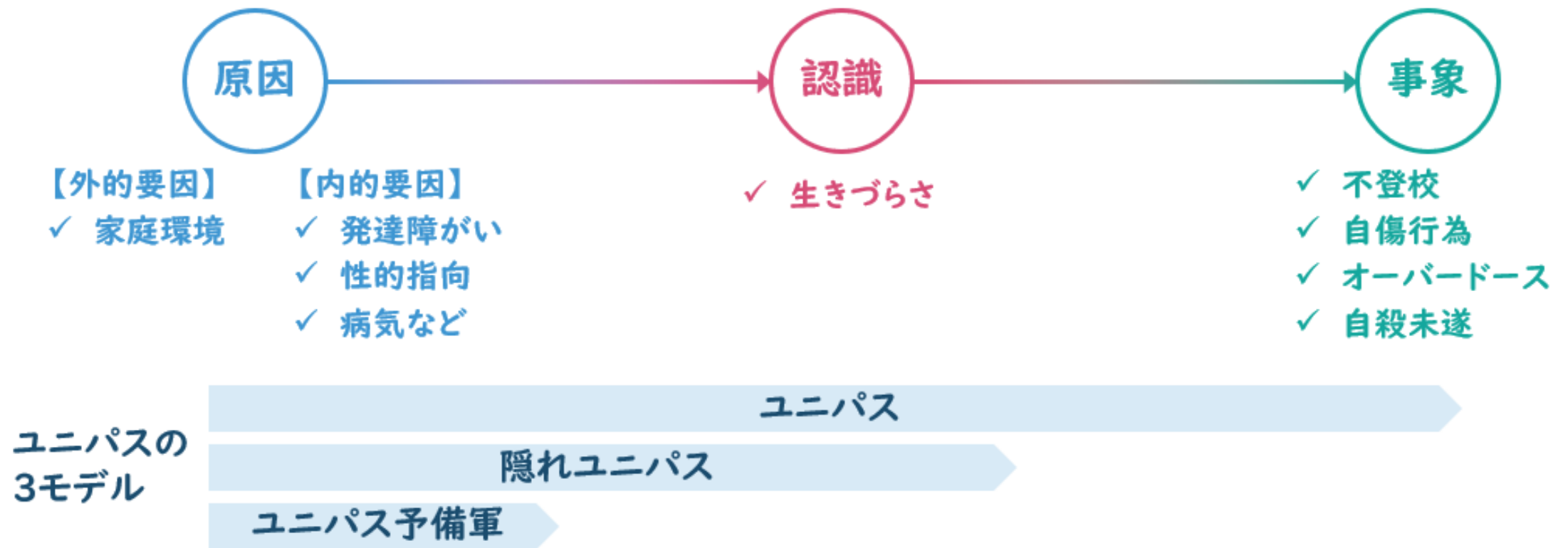


ユニパスさんとそれを支えるみなさん、全員集合！ 2026.2.14

生きづらさを抱える子どもの実態調査

NPO法人親の育ちサポートかがわ
鈴木裕美

ユニパスさんの原因（背景）、生きづらさ（認識）、事象がどのくらいあるのかを知ること、私たちができることを探ること



生きづらさを抱える子どもの実態調査

対象：香川県内の中学2校、公立高校2校、通信制高校2校

	1 年	2 年	3 年	総計
中学校	215	228	15	458
高等学校	432	434	403	1,269
公立高等学校	407	413	381	1,201
通信制高等学校	25	21	22	68
全体	647	662	418	1,727

性別

男性 710名

女性 995名

その他 22名

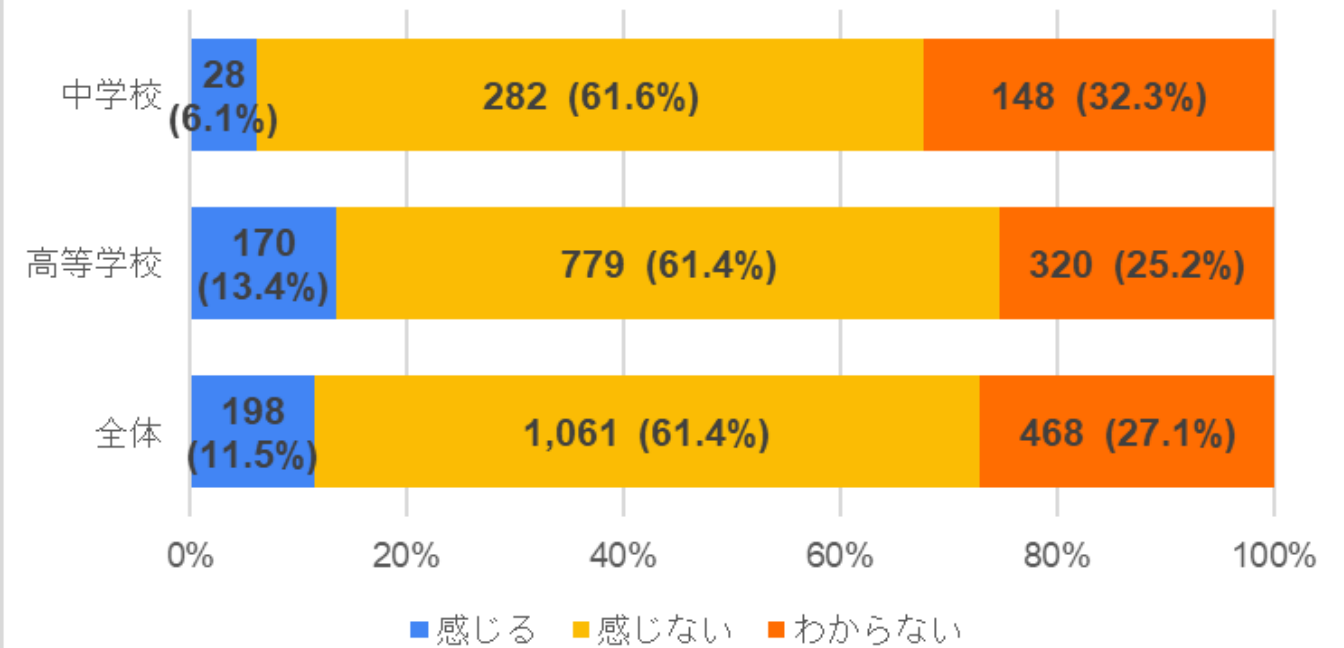
期間：2025年7～10月

方法：Googleフォームを用いて、学校のHRの時間に全員参加

「生きづらさ」について見てみました



あなたは「生きづらさ」を感じますか



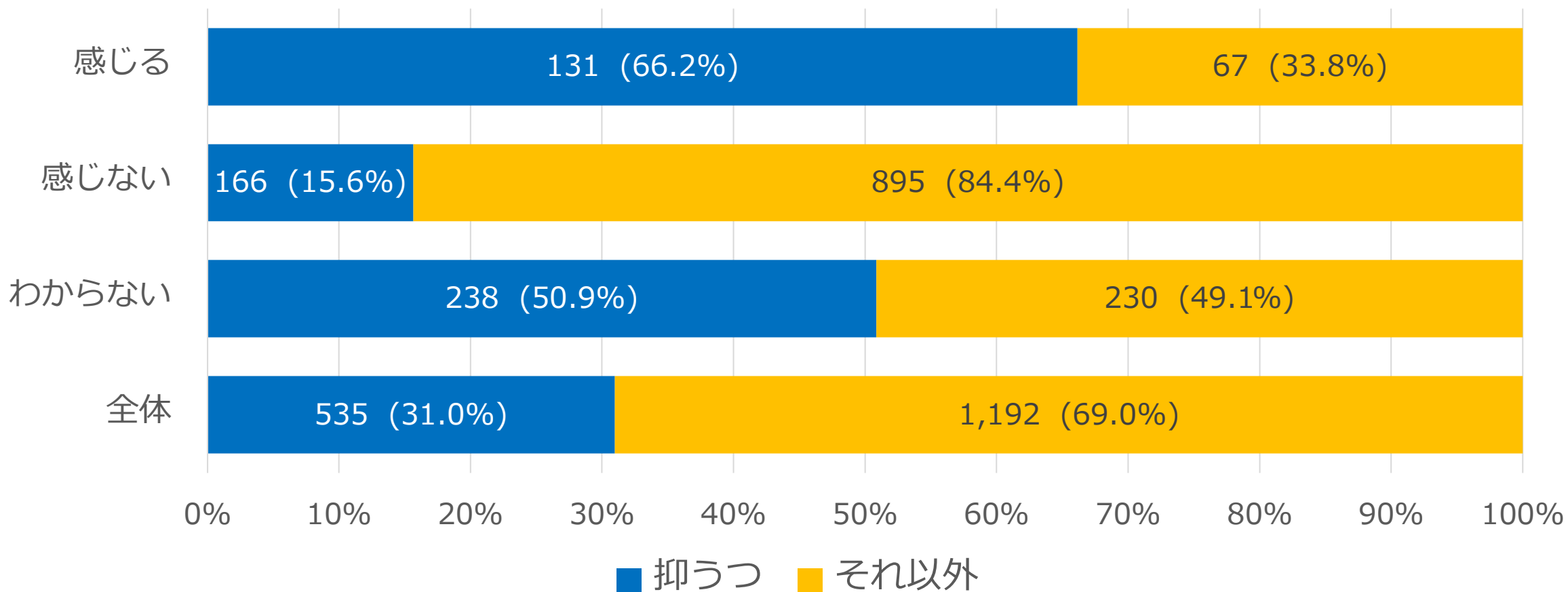
1 割
生きづらい

3 割
わからない



「生きづらさ」と抑うつ

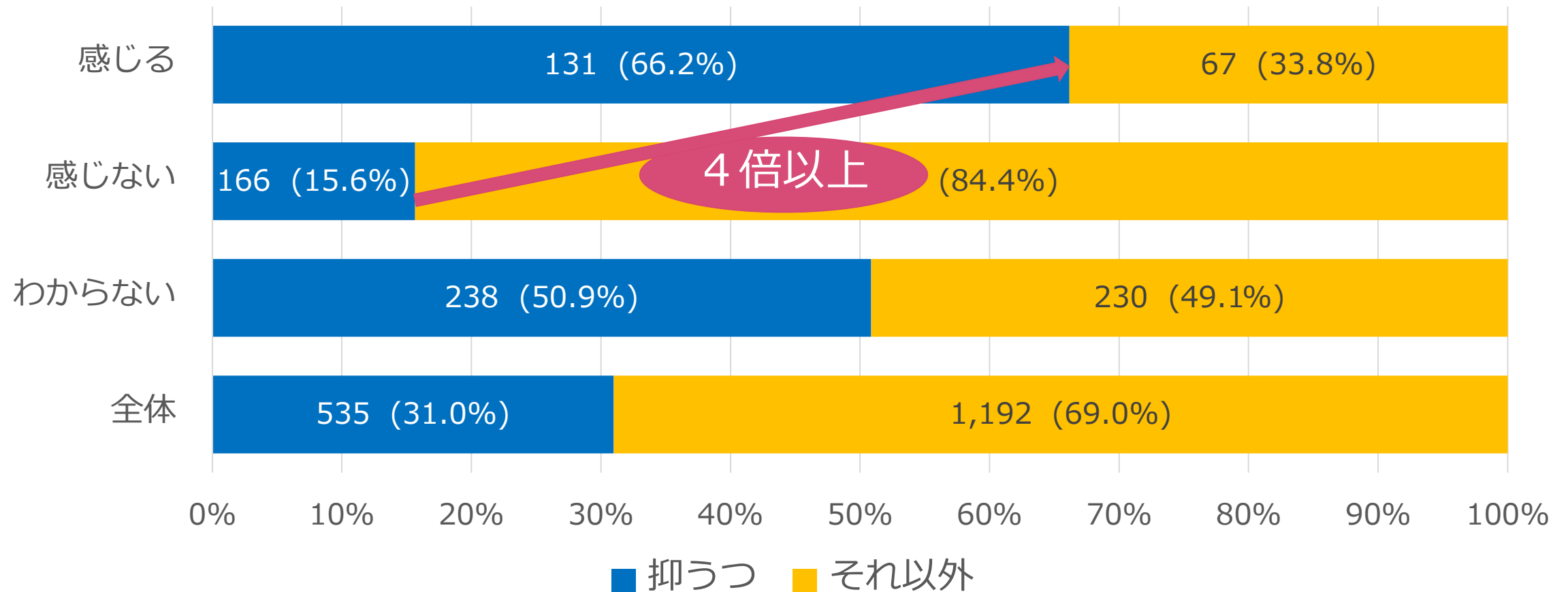
生きづらさ



「生きづらさ」を感じる人は、感じない人の4倍以上うつ状態

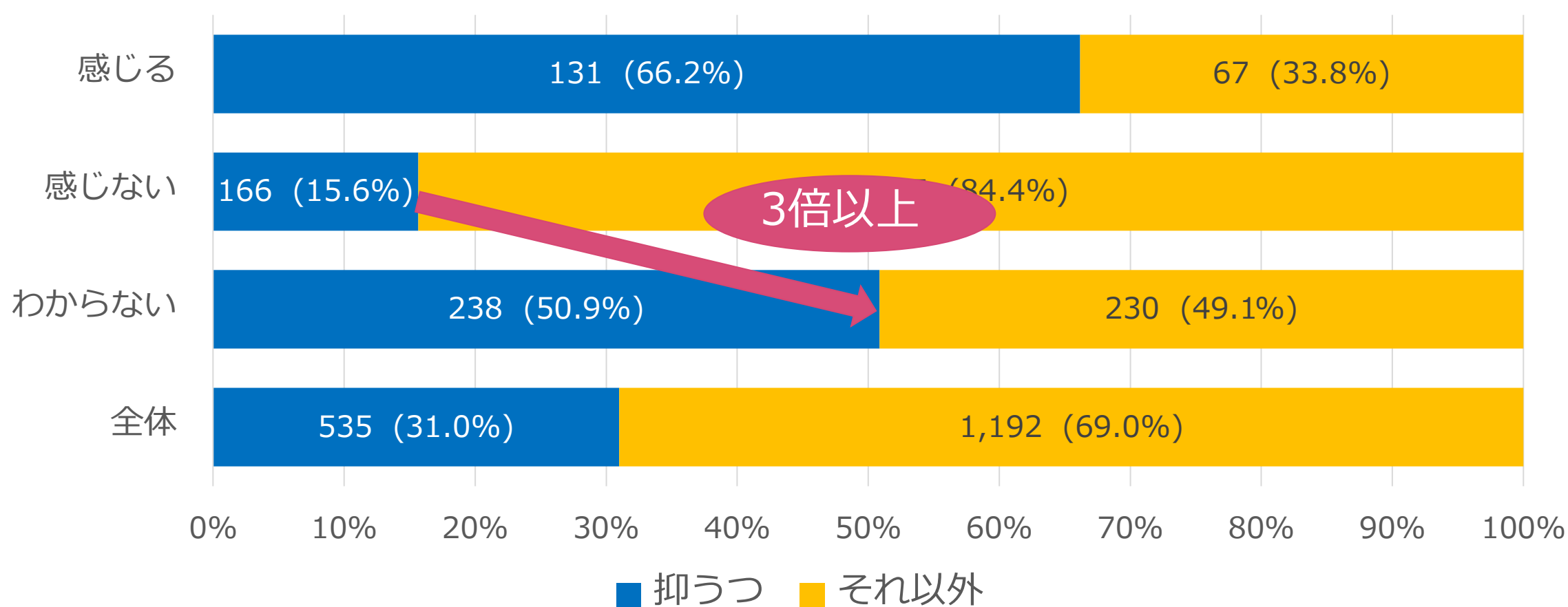
「生きづらさ」と抑うつ

生きづらさ

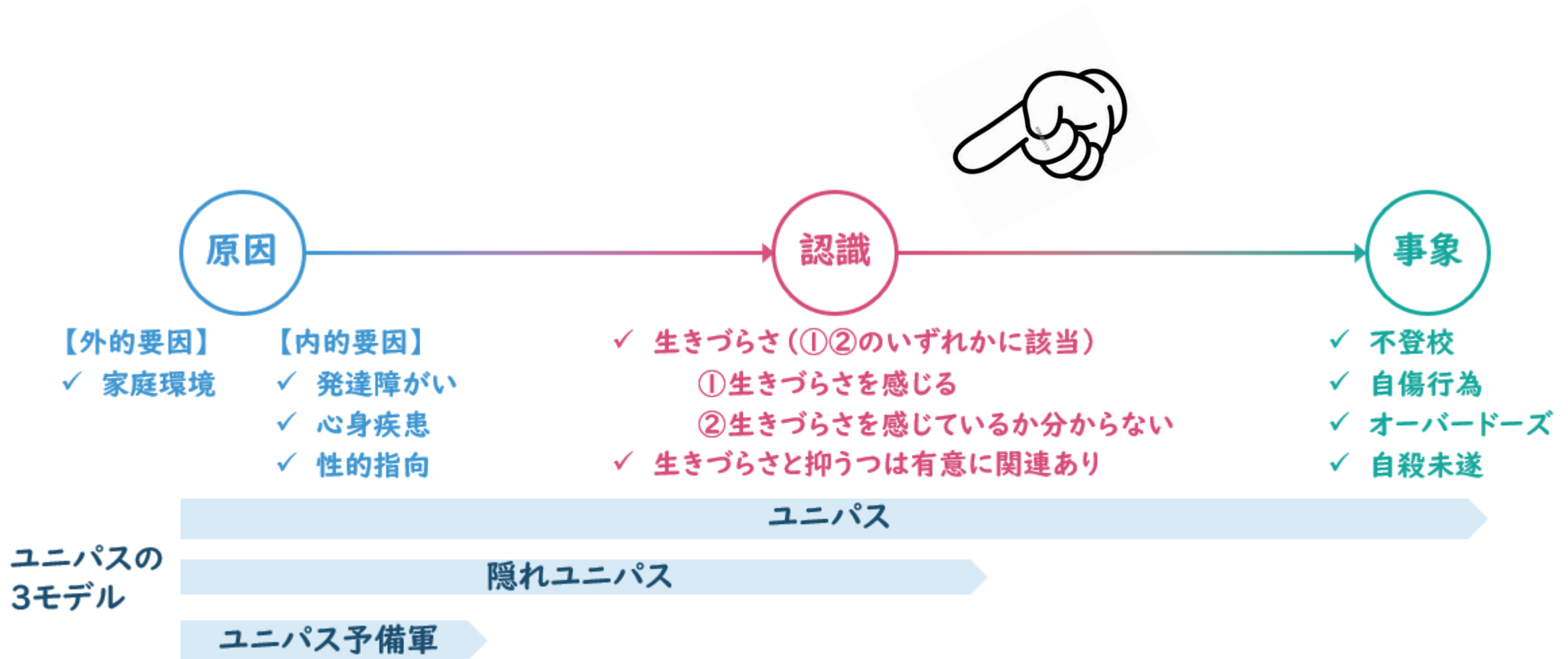


「生きづらさ」を感じるかわからない人は、感じない人の3倍以上うつ状態

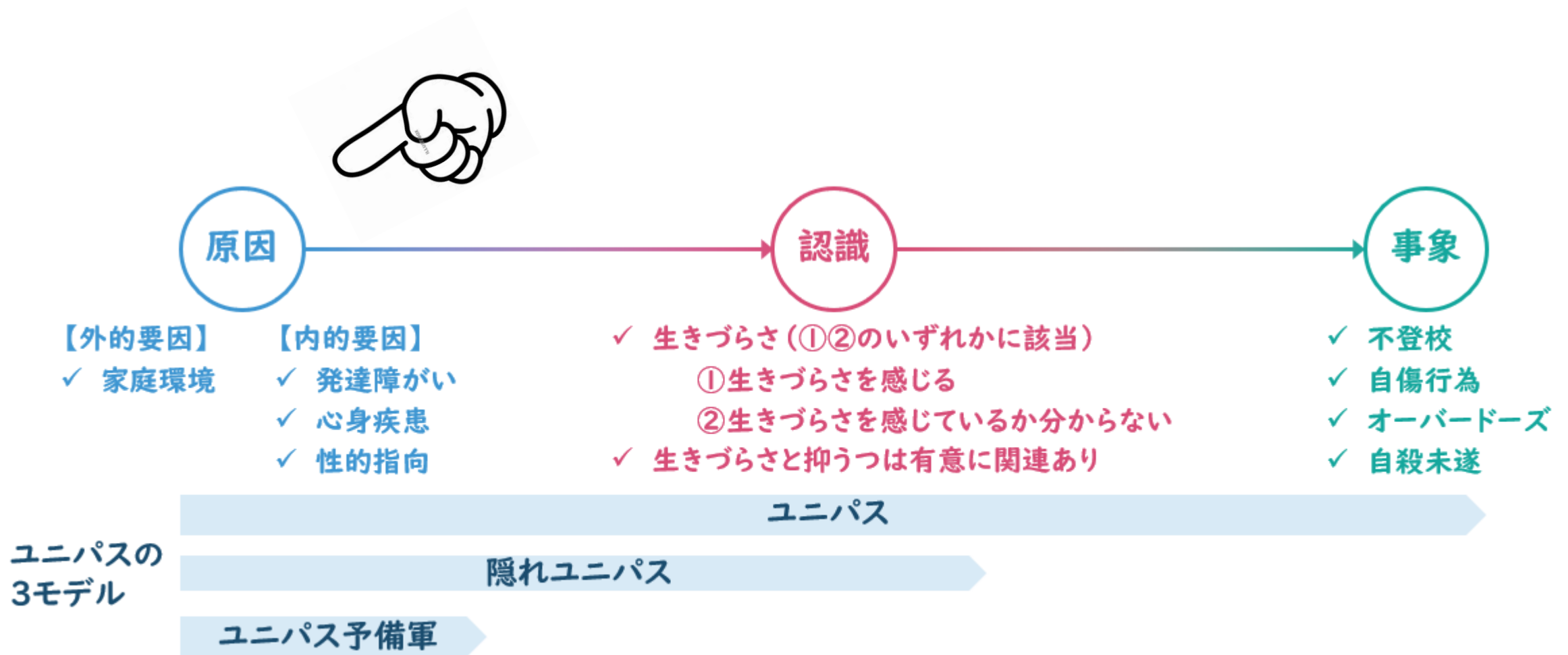
「生きづらさ」と抑うつ



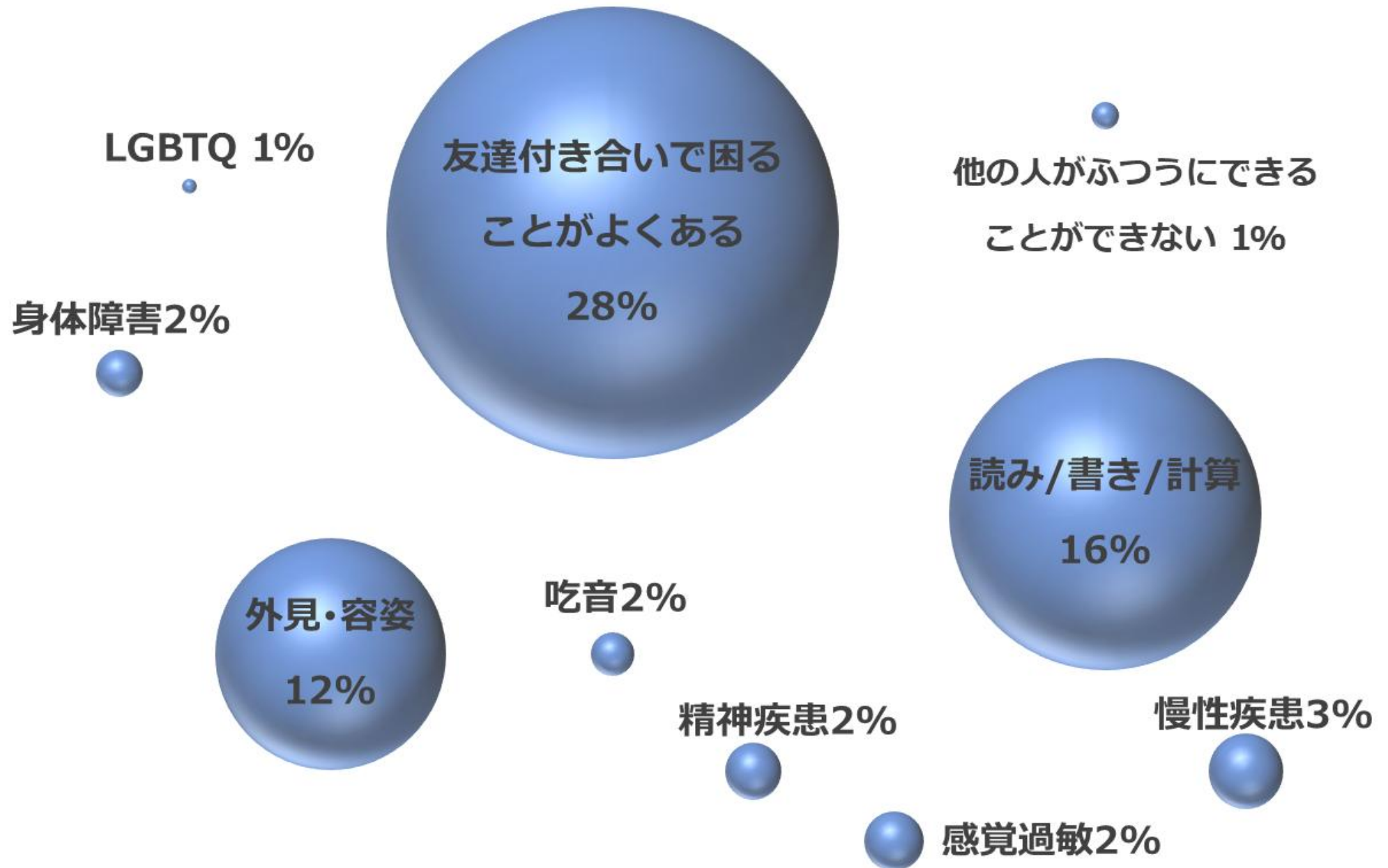
「生きづらさ」について見てみました



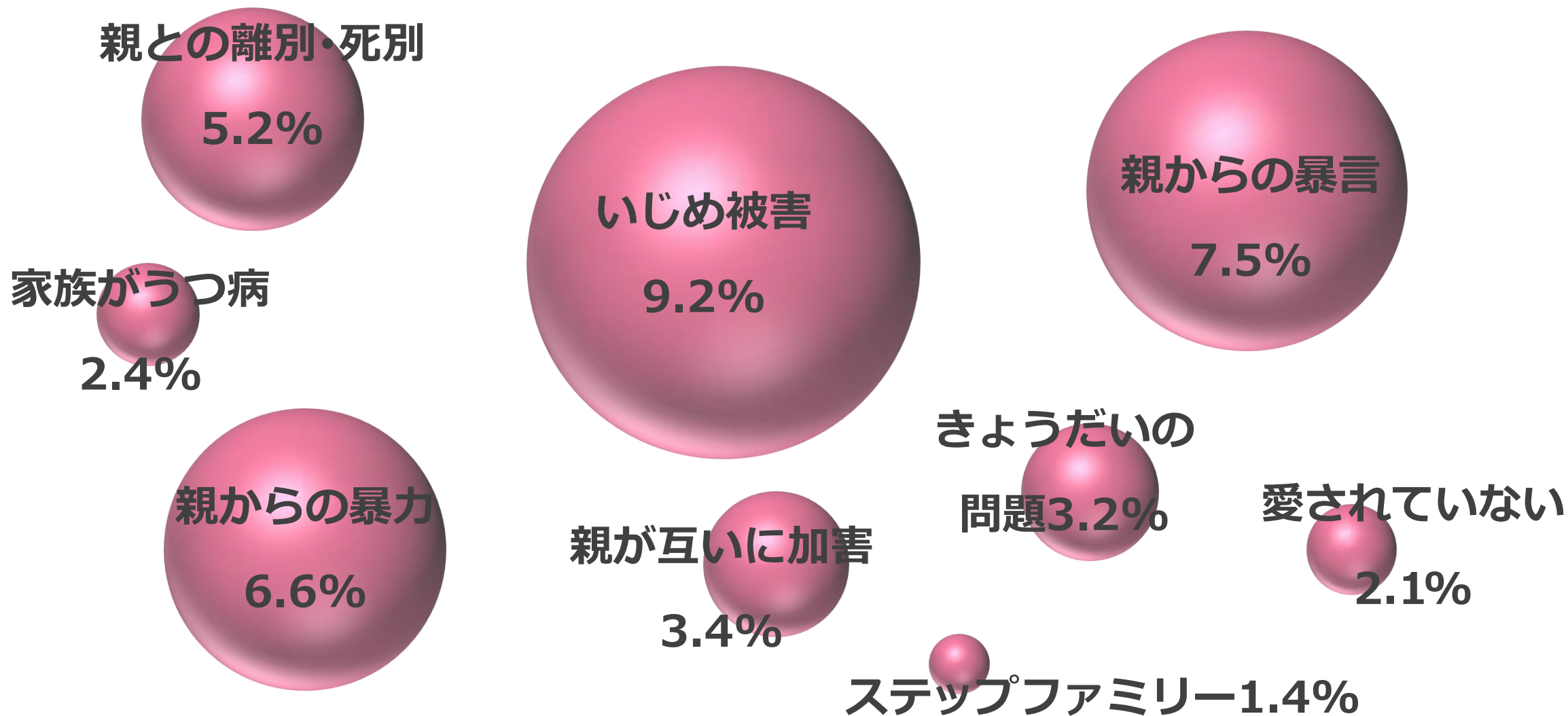
「生きづらさ」の背景因子を見てみました



生きづらさの背景（自分自身の特性、病気など）



逆境的小児期体験（Adverse childhood experiences: ACEs）



逆境的小児期体験（ACEs）の該当する項目数

n (%)

	全体	中学校	高等学校
0 項目	1,430 (82.8)	391 (85.4)	1,039 (81.9)
1 項目	177 (10.2)	51 (11.1)	126 (9.9)
2 項目	65 (3.8)	10 (2.2)	55 (4.3)
3 項目	33 (1.9)	4 (0.9)	29 (2.3)
4 項目以上	22 (1.3)	2 (0.4)	20 (1.6)
総計	1,727 (100.0)	458 (100.0)	1269 (100.0)

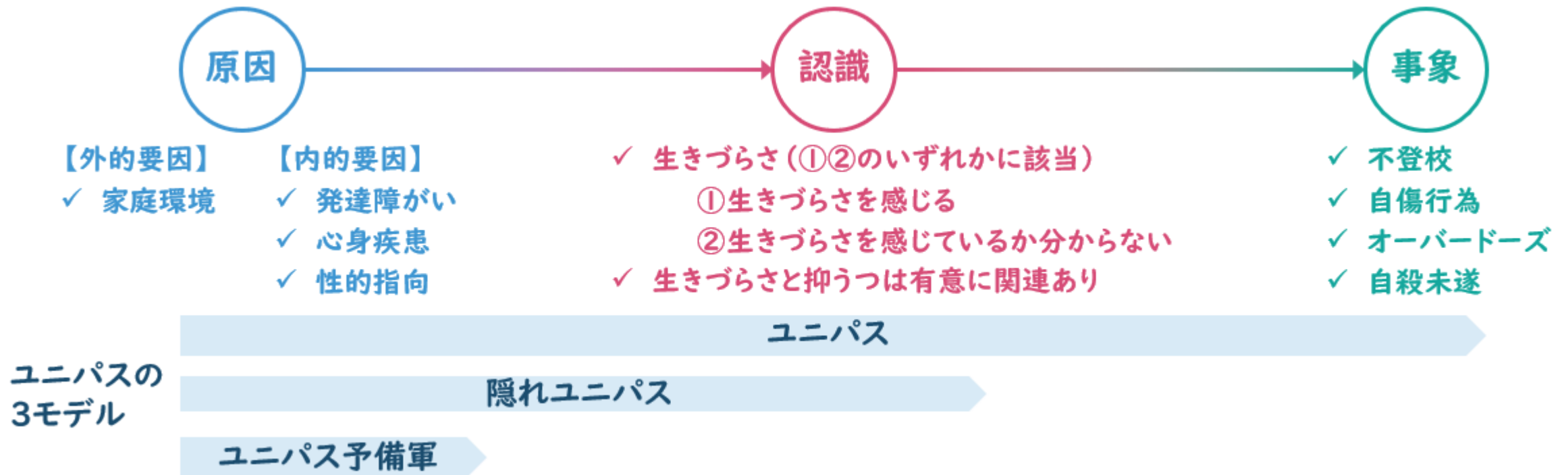
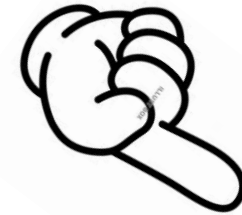
逆境的小児期体験の該当する項目数

n (%)

	全体	中学校	高等学校
0 項目	1,430 (82.8)	391 (85.4)	1,039 (81.9)
1 項目	177 (10.2)	51 (11.1)	126 (9.9)
2 項目	65 (3.8)	10 (2.2)	55 (4.3)
3 項目	33 (1.9)	4 (0.9)	29 (2.3)
4 項目以上	22 (1.3)	2 (0.4)	20 (1.6)
総計	1,727 (100.0)	458 (100.0)	1269 (100.0)

うつ病リスク 4～5 倍、自殺企図 12倍、
アルコール依存 7倍、薬物依存 10倍

「生きづらさ」の事象（行動）を見てみました



「生きづらさ」の事象（行動）

	n (%)		
	全体	中学校	高等学校
自傷行為	96 (5.6)	20 (4.4)	76 (6.0)
薬の過剰摂取	9 (0.5)	1 (0.2)	8 (0.6)
自殺未遂	37 (2.1)	7 (1.5)	30 (2.4)
自分の不登校	74 (4.3)	14 (3.1)	60 (4.7)



全国に当てはめると

中学生 314万人、高校生 292万人

24万人 不登校経験 (4.3%)

8万人 過剰服薬 (0.5%)

32万人 自傷行為 (5.6%)

12万人 自殺未遂 (2.1%)

- 原因、認識、事象のいずれかに該当する生徒は、約63%（約3人に2人が何らかのユニパス）
- 現時点で事象がなくても、将来**事象が出現する可能性は、50%以上**の生徒。

